



『ヒューマン・ハーバー“T.O”』

“Only as for giving it a way”

〔“偉人間交流会”・『語ろう会』会長：小川 正〕

オーストラリア(ゴールドコースト)見聞録

<2004.6.24~6.30、2回目のゴールドコースト>

前回は10ヶ月前でしたので、余り大きな変化を感じませんでした。
コーヒーなどの注文ミスも無く、新しい発見は多くありませんでした。
成田で借りて持参した携帯電話が現地のホテル到着時点から、通話が出来なくてパニック状態で翌日もその回復に関係者を回りましたが、G-ホンのサービス施設が無くて回復せず無用の長物となりました。

* 海外出張される折は現地のサービスを受けられる携帯電話会社の物を選ぶべきですね！
ボーダーホンなど通信電波会社系が良い様に思いました。

冬シーズンで飛行機も空席も在りまして、往復とも3席を二人で利用が出来ましたので飛行機の疲れは軽減され、救われました。

ただ、空港も市街地・観光施設・レストランも中国人系の観光客が非常に多く、日本人は影が薄い状況です。

市街地の看板も英語と中国語の併記が多くて、前回より日本語表示が少なく感じました。

オーストラリア(ゴールドコースト)も、中国を無視する事は出来ない感じですね。

その割に中華料理店は特別多く感じませんし、欧米の様に高くもありません。…日本料理は高い！
オーストラリア・シーフードレストラン&ステーキレストラン、インド料理、タイ料理が主流で、高級ホテル内のレストランでも日本の様に割り高感を感じません。

特に「ゴールドコースト」はリゾート地で商業地域ではないので、ユツタリと時が流れて東京の様な急ぎ足で流れる人達を見る事は有りません。



日曜日にドリームワールドに行き、コアラを抱いてきました！
結構重たいですね。

ドリームワールド自体のスケールは、大した事ありませんね。

日本のテーマパークを見ていると、シーワールドにも足を伸ばしましたが感激するには至りませんでした。

調教技術は感心しましたが、鴨川シーワールドと比較しても同レベルの感じでしょうか。



ホテルでは、気温20度を下回るのに朝からプールに入っている人達があるのです。

こんな事は日本では考えられないのですが、日差しが強く紫外線が強く日の当たる処は暖かく感じますが、影の処は湿気が少ないので寒く感じるのです。

現地の方に誘われまして、シーサイドでバーベキューを共にしました。

「ゴールドコースト」ではバーベキューは男が料理をする風習で、男性が私一人の為にしっかりと浜辺のバーベキュー施設で焼く係りをしてきました。

バーベキュー施設は公共の共有施設で、空くのを待って順番に利用するのです。

ビジネス的には、サーファー・ブランドとの提携を模索してアプローチしましたが、具体化する状況には至りませんでした。近い内には(有)オフィスオウの取扱ブランドに、1ブランドは加えたいと考えております。



内1社には、断りの返事が入りました。

サーフボード・ショップには必ずと言って良いほど、何故かは知りませんが日本人スタッフが居ます。

非常にチョコレートが好き土地柄でスーパーでの販売スペースも相当大きなスペースです。おみあげもチョコレートが主流で免税店でも凄いボリュームで陳列販売されているのですが、スーパーでの価格の2倍と見られますので、ウルオースなどのスーパーでの購入をお奨めします。それと、野菜や果物は美味しいです。日本の甘さを追及する野菜作りと違い、酸味を十分に含んだ爽やかさで、昔の日本の野菜・果物を思い出させます。

そして、高くありません！・・・りんごなどは、1kg./AU \$ 2.4(200 円弱)

良く歩くのですが日本で歩くより、疲れを感じません！・・・蒸し暑くないからでしょうか？

* 自然が一杯で広大さが、オーストラリアでしょうか。

国道1号線はオーストラリアを1周しているのですが、13,200km あり走破するのに約1ヶ月掛かると聞きました。

* パシフィックフェア(ショッピングセンター)も、広大です。

テーマパークよりも広いのではないかと感じます。1日では、回りきれないでしょう。

ビッグサイドで展示会を見るより時間は掛かりそうですし、フードコートも多彩で日本料理カウンター店まであります。

スーパーも数店出店していて、百貨店もマイヤーが出店している。

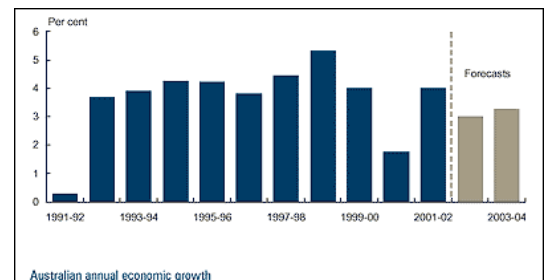
私は今回も行きましたが、まだマイヤー百貨店には入っていません。・・・土曜日でも夕方には、シネマゾーンを除いて全店閉店してしまいますので時間が足りないのです。

競争力のあるオーストラリア経済

過去10年余りの間に、オーストラリア経済は世界で最も実力のある経済国のひとつになりました。このような成功の背景の影には低インフレ率と低失業率のもとで活気ある解放された経済を維持していることがあげられます。また競争力の高い第3セクター産業の繁栄や、技術力 に優れた労働市場と高い生産性がオーストラリア経済を支える柱となっています。

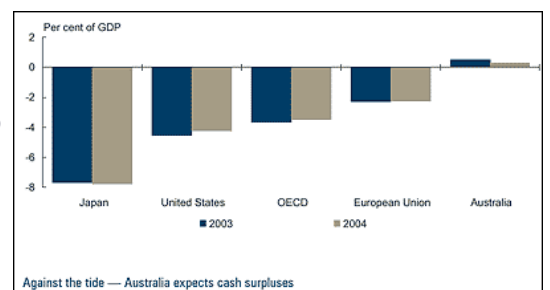
■ 経済成長率

オーストラリア経済は 2003-04 年度、13 年連続でその経済成長を維持 2003-04 年度の年間経済成長率は 3.25%を予測。



■ GDP (国内総生産)

効果的かつ促進的な経済政策によって、オーストラリアは GDP 率の増加を維持 OECD(経済開発協力機構)は世界の経済大国がのきなみ経済後退を強いられている中、オーストラリアの継続的な経済成長を平均以上であると評価



■ 失業率

1996 年以來の改革された労働市場により、雇用促進が着実にすすんでいる。2003-04 年度失業率は 2002 年度と同様、6%台と予測されている。過去 10 年間では、最高だった 0000 年の 10.7%から 4.2%低下している

